

2023年4月版

0歳の予防接種スケジュール

ワクチンデビューは、生後2か月の誕生日

0歳の赤ちゃんを VPD(ワクチンで防げる病気)から守るためには、生後2か月になったらできるだけ早くワクチンを受けることが大切です。このスケジュールは NPO 法人 VPD を知って、子どもを守ろうの会によるもっとも早期に免疫をつけるための提案です。

ワクチン名	接種済み ☒	誕生	1か月	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9か月	10か月	11か月	1歳
mRNA ワクチン 新型コロナ 臨時	☐ ☐ ☐													
不活化 ワクチン B型肝炎 (母子感染予防を除く) 定期	☐ ☐ ☐													
生 ワクチン ロタウイルス 定期	☐ ☐ ☐ ☐ ☐													
不活化 ワクチン ヒブ 定期	☐ ☐ ☐ ☐ ☐													
不活化 ワクチン 小児用肺炎球菌 定期	☐ ☐ ☐ ☐ ☐													
不活化 ワクチン 四種混合 (ジフテリア・百日せき 破傷風・ポリオ) 定期	☐ ☐ ☐ ☐ ☐													
生 ワクチン BCG 定期	☐													
生 ワクチン MR (麻しん風しん) 定期	☐ ☐													
生 ワクチン 水痘 (みずぼうそう) 定期	☐ ☐													
生 ワクチン おたふくかぜ 任意	☐ ☐													
不活化 ワクチン 日本脳炎 定期	☐ ☐ ☐ ☐ ☐													

接種スケジュールは変更になることがあります。
事前に最新情報をご確認ください。

1回目の通常3週間後に2回目、
2回目の8週間後に3回目を接種。

① ②

③

① ②

1価ワクチンと5価ワクチンがあります。
初回は遅くとも生後14週6日までに接種を開始し、それぞれの必要接種回数を受けます。

0歳のうちに3回接種が必要。
3回目は2回目から4-5か月の間隔をあけます。

必要回数を接種するために
生後2か月に
なったらすぐに
同時接種で
受けましょう。

① ② ③

3回目を生後6か月までに
受けるようにしましょう。

① ② ③

予防効果を長期にわたって
維持するために1歳代の
追加接種を忘れずに受けま
しょう。

④

④

④

1歳の誕生日が来たら同時接種で受け
ましょう。ヒブ・小児用肺炎球菌・四種
混合・MR・水痘・おたふくかぜの6本を
同時接種で受けることもできます。

①

①

標準的には3歳から接種しますが、
生後6か月から受けられます。

mRNA ワクチン	注射・スタンプ式	臨時	無料(全額公費負担)。
不活化 ワクチン	経口	定期	定められた期間内で受ける場合は原則として無料(公費負担)。
生 ワクチン		任意	多くは有料(自己負担)。自治体によっては公費助成があります。 任意接種ワクチンの必要性は定期接種ワクチンと変わりません。

臨時の予防接種の対象年齢	おすすめの接種時期(数字は接種回数)
定期の予防接種の対象年齢	異なる種類の注射の生ワクチン同士の接種間隔は 最短で4週間です(4週間後の同じ曜日から接種可)。
任意接種の接種できる年齢	

同時接種: 同時に複数のワクチンを接種することができます。安全性は単独でワクチンを接種した場合と変わりません。
国や日本小児科学会も乳幼児の接種部位として太もも(大腿前外側部)も推奨しています。詳しくはかかりつけ医にご相談ください。詳しい情報は <https://www.know-vpd.jp/>

VPD

検索